

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年8月26日(2021.8.26)

【公開番号】特開2019-150148(P2019-150148A)

【公開日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-037

【出願番号】特願2018-35923(P2018-35923)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月13日(2021.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入球可能な第1状態と、その第1状態よりも遊技球が入球困難な第2状態と、に可変可能な可変入球手段を有した遊技機において、

前記可変入球手段へと入球した遊技球を検出可能な検出手段と、

遊技球が入球可能な第1入球手段と、

前記第1入球手段へと遊技球が入球したに基づいて判別を実行可能な判別手段と、

その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、前記可変入球手段を所定期間、前記第2状態から前記第1状態へと可変させる可変制御手段と、

前記検出手段によって遊技球が検出された場合に成立し得る所定の設定条件が成立したことに基づいて、特定の状態を設定可能な状態設定手段と、

前記特定の状態において前記第1入球手段とは異なる第2入球手段へと遊技球が入球したに基づいて遊技者に有利な特典遊技状態を設定する特典遊技状態設定手段と、を備え、

前記第2入球手段は、少なくとも通常の遊技状態において前記第1入球手段よりも遊技球が入球し難い構成であり、

前記遊技機は、

遊技球を遊技領域へと発射可能な発射手段を有し、

前記特定の状態において前記第1入球手段へと遊技球が入球したとしても、当該入球を契機として前記特定の状態が終了され得ない構成であり、

前記第1入球手段と前記第2入球手段とは、いずれも前記発射手段によって特定方向へと発射された遊技球が少なくとも入球し得る位置に設けられていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技球が入球可能な第1状態と、その第1状態よりも遊技球が入球困難な第2状態と、に可変可能な可変入球手段を有し、前記可変入球手段へと入球した遊技球を検出可能な検出手段と、遊技球が入球可能な第1入球手段と、前記第1入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となつたことに基づいて、前記可変入球手段を所定期間、前記第2状態から前記第1状態へと可変させる可変制御手段と、前記検出手段によって遊技球が検出された場合に成立し得る所定の設定条件が成立したことに基づいて、特定の状態を設定可能な状態設定手段と、前記特定の状態において前記第1入球手段とは異なる第2入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて遊技者に有利な特典遊技状態を設定する特典遊技状態設定手段と、を備え、前記第2入球手段は、少なくとも通常の遊技状態において前記第1入球手段よりも遊技球が入球し難い構成であり、前記遊技機は、遊技球を遊技領域へと発射可能な発射手段を有し、前記特定の状態において前記第1入球手段へと遊技球が入球したとしても、当該入球を契機として前記特定の状態が終了され得ない構成であり、前記第1入球手段と前記第2入球手段とは、いずれも前記発射手段によって特定方向へと発射された遊技球が少なくとも入球し得る位置に設けられている。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0011】

請求項1記載の遊技機によれば、遊技球が入球可能な第1状態と、その第1状態よりも遊技球が入球困難な第2状態と、に可変可能な可変入球手段を有し、前記可変入球手段へと入球した遊技球を検出可能な検出手段と、遊技球が入球可能な第1入球手段と、前記第1入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となつたことに基づいて、前記可変入球手段を所定期間、前記第2状態から前記第1状態へと可変させる可変制御手段と、前記検出手段によって遊技球が検出された場合に成立し得る所定の設定条件が成立したことに基づいて、特定の状態を設定可能な状態設定手段と、前記特定の状態において前記第1入球手段とは異なる第2入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて遊技者に有利な特典遊技状態を設定する特典遊技状態設定手段と、を備え、前記第2入球手段は、少なくとも通常の遊技状態において前記第1入球手段よりも遊技球が入球し難い構成であり、前記遊技機は、遊技球を遊技領域へと発射可能な発射手段を有し、前記特定の状態において前記第1入球手段へと遊技球が入球したとしても、当該入球を契機として前記特定の状態が終了され得ない構成であり、前記第1入球手段と前記第2入球手段とは、いずれも前記発射手段によって特定方向へと発射された遊技球が少なくとも入球し得る位置に設けられている。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】4355

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【4355】

1 0	パチンコ機（遊技機）
1 1 2	発射制御装置（第18実施形態における発射手段）
6 6 0	作動入賞口（第18実施形態における第2入球手段）
6 9 0 4	第1特別通過口（第18実施形態における第1入球手段）
6 9 4 0 a	電動役物（第18実施形態における可変手段）

6 9 5 0 小当たり用入賞装置（第18実施形態における可変入球手段  
）  
S 2 2 0 第18実施形態における状態設定手段の一部  
S 6 2 3 第18実施形態における可変制御手段  
S 1 1 0 3 第18実施形態における特典遊技状態設定手段  
S 1 3 2 1 第18実施形態における可変制御手段  
S 1 3 4 3 第18実施形態における状態設定手段の一部  
S 1 6 0 2 第18実施形態における検出手段